

「説明的文章」を読み取ろう！

年 組 番 氏名

説明的文章とは、ある物事について、筆者が自分の意見や説明を述べた文章のことです。「説明文」「論説文」「報告文」などがそれにあたります。大人になって、仕事をしたときにもたくさん説明的文章を読む機会があるでしょう。今のうちにしっかり読み取れるようになっておきましょう。



手順1 形式段落に分けよう！

形式段落は、書き出しが一字分下がっているのです、すぐに見つけられると思います。説明的文章を学ぶときには、読む前に番号を振っておきましょう。

手順2 通読しよう！

細かいことは気にしすぎず、一度通読してみましょう。その時に、**大体何について書かれてい**るのかを読み取ってください。

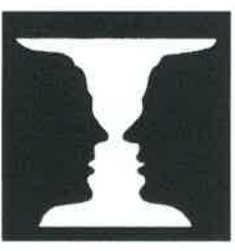
「イースター島の森林がなぜなくなったのかを説明しているんだなあ。」とか、「コミュニケーションを考えることは豊かな町作りにつながるんだなあ。」程度でいいです。

手順3 筆者の疑問・課題に線を引こう！

説明的文章には、筆者が自分で疑問や課題を出し、それに自分で答えていくという文章構成が多く見られます。

手順4 序論・本論・結論に分けよう

説明的文章の構成（話の進め方）の代表がこの三段構成です。



序論…小学校では「初め」と習います。 **話題提起**・**問題提起**が書いてあります。

本論…小学校では「中」と習います。実験・観察・調査などをもとに、**具体的な事実**や、**それに基づく筆者の意見**が書いてあります。

結論…小学校では「終わり」と習います。全体の**まとめ**や**筆者の主張**が書いてあります。

それでは、手順1～4にしたがって、教科書の説明的文章を読んでみましょう。

〈1年生〉「ダイコンは大きな根？」「ちよつと立ち止まって」「シカの落穂ひろい」「幻の魚は生きていた」

〈2年生〉「生物が記録する科学」「モアイは語る」「君は最後の晩餐を知っているか」「科学はあなたの中にある」

〈3年生〉「月の起源を探る」「作られた『物語』を超えて」「誰かの代わりに」

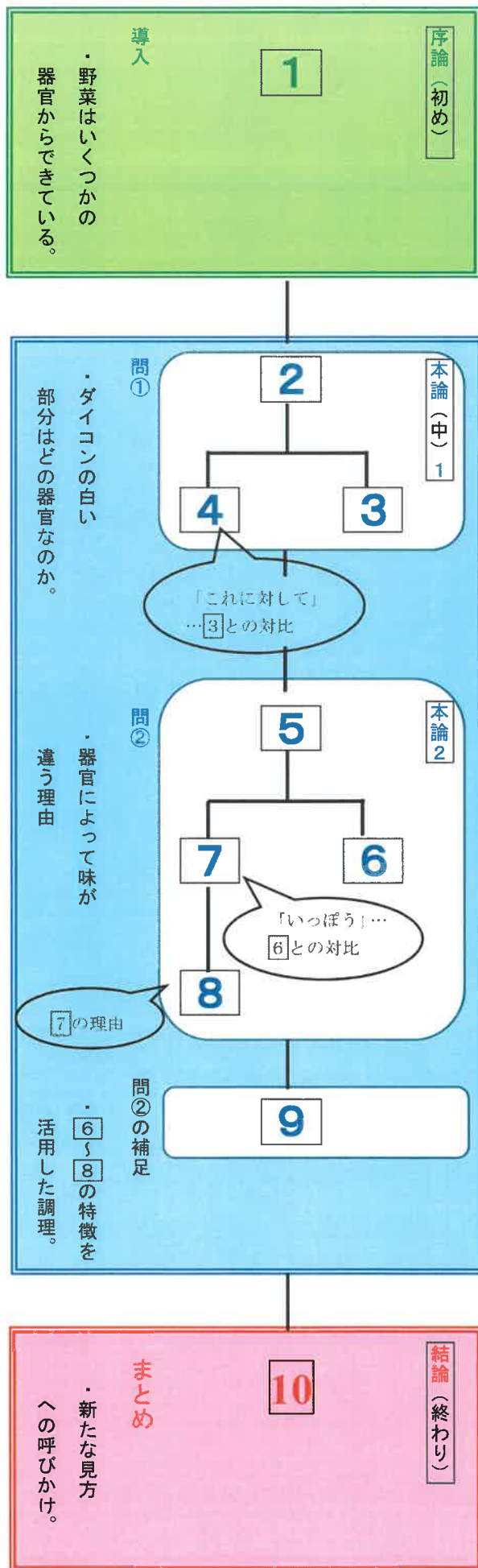
「説明的文章」を読み取るう！

年 組 番 氏名

手順5 段落を整理しよう！

段落の関係をふまえ、まとまりに分けてみましょう。

1年生の教材「ダイコンは大きな根？」（形式段落 1～10）でやってみると……



→こうなります。これを説明的文章の「構造図」と言います。

「構造図」

それでは、各学年の教科書に載っている、次の説明的文章の構造図を書いてみましょう。

〈1年生〉 P49 「ちよつと立ち止まって」 P164 「幻の魚は生きていた」

〈2年生〉 P42 「生物が記録する科学」 P116 「モアイは語る」

〈3年生〉 P158 「作られた『物語』を超えて」



「説明的文章」を読み取ろう！

年 組 番 氏名

手順6 「事実」と「意見」を探そう！

説明的文章には「**事実**」（実験・観察・調査によって分かったこと）と

「**意見**」（筆者の考え）が書かれています。

まずは「**事実**」を探しましょう。「**事実**」は文末を見ればわかりやすいですよ。

「事実」を表している文末の例

- ・～です。～だ。～である。 と断定している文末
- ・～が分かった。～が明らかになった。～が判明した。
- ・～を示している。～を表している。



「**事実**」を探したら、それが【どのような実験・観察・調査など】から分かったものかを文章中から抜き出しましょう。

次の教科書教材で、「**事実**」を抜き出す練習をしてみましょう。

〈1年生〉 「幻の魚は生きていた」 P167 L1～P168 L8 〈2年生〉 「モアイは語る」 P118 L17～P119 L14

〈3年生〉 「月の起源を探る」 P48 L17～P49 L18

【実験・調査・観察など】

【**事実**】



次に筆者の「意見」を探しましょう。説明的文章の筆者は、自分の「意見」を読者に伝えたのです。筆者の「意見」をしっかりと読み取ってあげましょう。これも、文末を見ればすぐに読み取れるでしょう。

「意見」を表している文末の例

- ・くかもしれない。くのはずだ。くのようにだ。くだらう。
- ・くと考える。くと想像する。くと感じる。くだと思う。
- ・くなのだろうか。



説明的文章の【本論】は、「疑問・課題」があり、それを調べることで「事実」が分かり、そこから筆者の「意見」につながる人が多いです。

「意見」が新しい「疑問・課題」になり、そこから新しい「事実」↓「意見」と話が広がっていくこともあります。

次の教科書教材で、「意見」を抜き出す練習をしてみましょう。

〈1年生〉「シカの『落穂拾い』」 P121 L11 ～ P124 L14

〈2年生〉「生物が記録する科学」 P46 L10 ～ P47 L18

〈3年生〉「作られた『物語』を超えて」 P161 L16 ～ P163 L15

【意見】

「説明的文章」を読み取ろう！

年 組 番 氏名

手順6 「事実」と「意見」を探そう！

説明的文章には「**事実**」（実験・観察・調査によって分かったこと）と

「**意見**」（筆者の考え）が書かれています。

まずは「**事実**」を探しましょう。「**事実**」は文末を見ればわかりやすいですよ。

「**事実**」を表している文末の例

- ・ ーです。 ーだ。 ーである。 と断定している文末
- ・ ーが分かった。 ーが明らかになった。 ーが判明した。
- ・ ーを示している。 ーを表している。



「**事実**」を探したら、それが【どのような実験・観察・調査など】から分かったものかを文章中から抜き出しましょう。

次の教科書教材で、「**事実**」を抜き出す練習をしてみましょう。

- 〈1年生〉 「幻の魚は生きていた」 P167 L1 ー P168 L8
- 〈2年生〉 「モアイは語る」 P118 L17 ー P119 L14
- 〈3年生〉 「月の起源を探る」 P48 L17 ー P49 L18

<p>【実験・調査・観察など】 〈1年生〉 クニマスに関する論文や 学術書の調査</p>	<p>〈2年生〉 イースター島の火口湖のポ ーリング調査</p>	<p>〈3年生〉 コンピュータシミュレーシ ョンで月形成の実験</p>
<p>【事実】 西湖の黒いマスはクニマス であった。</p>	<p>ヤシの花粉が大量に発見さ れたのだ。人間が移住する前の イースター島が、ヤシの森にお おわれていたことを示してい る。</p>	<p>火星ぐらいの原始惑星が、地 球に対して四十五度ぐらいの 角度で衝突した場合、月を形成 するのに十分な材料物質がま き散らされることが確かめら れた。</p>

次に筆者の「意見」を探しましょう。説明的文章の筆者は、自分の「意見」を読者に伝えたのです。筆者の「意見」をしっかりと読み取ってあげましょう。これも、文末を見ればすぐに読み取れるでしょう。

「意見」を表している文末の例

- ・くかもしれない。くのはずだ。くようだ。くだらう。
- ・くと考える。くと想像する。くと感じる。くだと思う。
- ・くなのだろうか。



説明的文章の【本論】は、「疑問・課題」があり、それを調べることで「事実」が分かり、そこから筆者の「意見」につながる人が多いです。

「意見」が新しい「疑問・課題」になり、そこから新しい「事実」↓「意見」と話が広がっていくこともあります。

次の教科書教材で、「意見」を抜き出す練習をしてみましょう。

〈1年生〉「シカの『落穂拾い』」 P121 L11 ～ P124 L14

〈2年生〉「生物が記録する科学」 P46 L10 ～ P47 L18

〈3年生〉「作られた『物語』を超えて」 P161 L16 ～ P163 L5

【意見】	〈2年生〉	〈3年生〉
シカにとってサルは、食物が乏しく栄養状態の悪い時期に、自力では獲得が難しい、しかも栄養価の高い食物をたくさん落としてくれる、ありがたい存在と考えられる。	野生のペンギンにとって は、餌を効率よくとることも重要だが、捕食者に食べられないこともまた重要なのだ。	「物語」によって作られた常識の陰に、虐げられている生き物や人間がいらないか、意味を取り違えて排除していることがないか、思いを巡らすことが大切だと思う。

「説明的文章」を読み取ろう！

年 組 番 氏名

手順7 「要点」「要約」「要旨」の違いを知ろう！

説明的文章の学習をしていると、似たような三つの言葉がよく出てきます。

「要点」^{ようてん} 「要約」^{ようやく} 「要旨」^{ようし} です。今回はこの三つの違いを理解してみましょう。

「要点」とは？…文章や話の中心となる、大切な部分

・授業中は「この段落の要点は？」と聞かれることが多いでしょう。つまり「要点」とは、
”形式段落の中心（中心文）”を示すことが多いです。

・各段落の初めか終わりにあることが多いです。見つけやすいですね。



「要約」とは？…文章全体を短くまとめること

・授業では「この文章を要約してみよう」という形で課題が出されますよね。「要約」する
という「とは、各段落の「要点」をつまみつけて、短く分かりやすくまとめること」
です。

・「要約」できるようになることが、説明的文章の学習の最大の目標となるでしょう。

「要旨」とは？…文章の中で筆者が最も伝えたいこと

・授業中では「この説明文の要旨は何でしょう？」と聞かれます。「要旨」とは、筆者が
一番読者に伝えたいことです。小学生のころから、いくつもの説明的文章を読んできた
皆さんなら、それがどのあたりに書かれているか、大体わかりますね。そう、”結論”で
す。”序論”でいきなり「要旨」が書かれている文章もあります。いずれにしても、見つ
けるのはそんなに難しくありません。

それでは、練習として、次の文章で各段落の「要点」を見つけ、それをつないで「要約」し

てみましょう。さらに、その文章の「要旨」を抜き出しましょう。

- ① 中学二年生の子供を持つ親として、わが子に携帯電話を持たせるかどうか悩んでいます。中学生に携帯電話は本当に必要なのでしょうか。
- ② 第一に、危険性の問題があります。インターネットに接続することによって、犯罪に巻き込まれたり、個人情報が悪用されたりしたという話を聞きます。
- ③ 第二に、料金の問題があります。携帯電話は、当然使用料がかかります。日々の通話やメール、インターネット接続などで、料金は上がり、中学生にふさわしいお小遣いの額からは、かけ離れていくことが多いと思うのです。
- ④ 子供は、周りの友達も持っている主張しますが、私は、携帯電話を持たせるのはまだ早いのではないかと考えています。

☆ まず、右の文章の各段落の要点に……………線を引きましょう。

☆ 次に、各段落の要点をうまくつなぎ合わせて、この文章を要約しましょう。



☆ 最後に要約の中から要旨を探し、……………線を引きましょう。

これを参考に、次は教科書の教材で、各形式段落の「要点」をつなげて文章を

「要約」し、「要旨」を探してみましょう。

- 1 中学二年生の子供を持つ親として、わが子に携帯電話を持たせるかどうか悩んでいます。中学生に携帯電話は本当に必要なのでしょうか。
- 2 第一に、危険性の問題があります。インターネットに接続することによって、犯罪に巻き込まれたり、個人情報が悪用されたりしたという話を聞きます。
- 3 第二に、料金の問題があります。携帯電話は、当然使用料がかかります。日々の通話やメール、インターネット接続などで、料金は上がり、中学生にふさわしいお小遣いの額からは、かけ離れていくことが多いと思うのです。
- 4 子供は、周りの友達も持っていると主張しますが、私は、携帯電話を持たせるのはまだ早いのではないかと考えています。



☆ まず、右の文章の各段落の要点に……線を引きましょう。

☆ 次に、各段落の要点をうまくつなぎ合わせて、この文章を要約しましょう。

中学生に携帯電話は本当に必要なのか。危険性の問題や、料金の問題などを考えると、中学生に携帯電話を持たせるのは早いと考える。

☆ 最後に要約の中から要旨を探し、……線を引きましょう。

これを参考に、次は教科書の教材で、各形式段落の「要点」をつなげて文章を

「要約」し、「要旨」を探してみましょう。